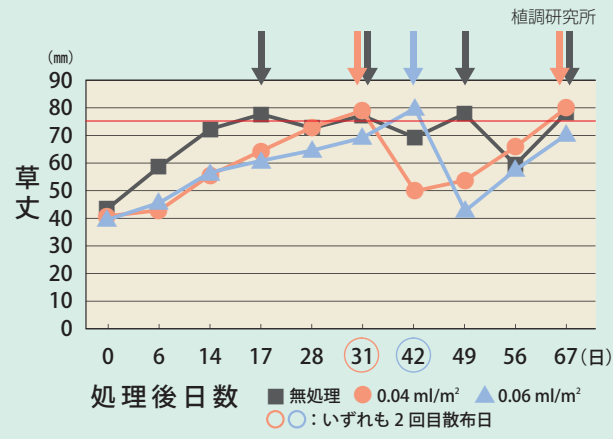


芝刈込み軽減効果

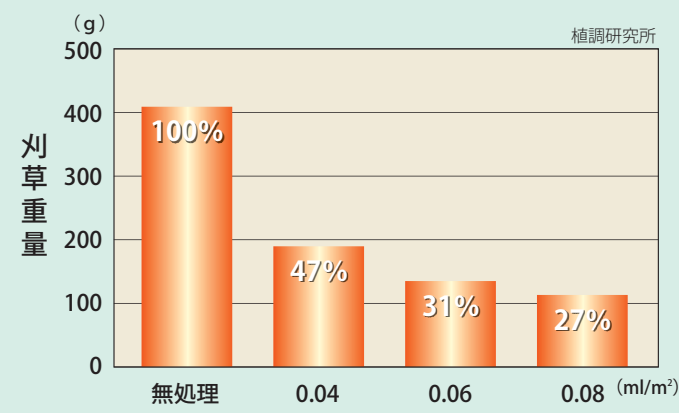
日本芝と西洋芝（ベントグラス・ブルーグラス）の成長を抑え、刈込み回数と刈草量を低減します。

刈込み軽減効果 ノシバ



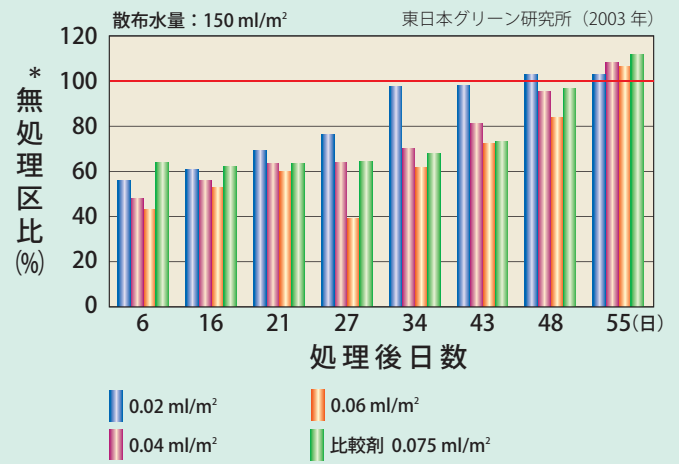
バイオロック処理によりノシバに対する刈込み作業が1/2以下に軽減されました。

刈草量の変化（67日間の合計） ノシバ



バイオロック処理によりノシバの刈草量が1/2以下に軽減されました。

刈草乾燥重の推移 ベントグラス



【試験場所】茨城 G.C. ベントグラスナーセリー（品種：L-93 刈り高：5.0mm）
【薬剤処理日】2003年6月10日
* 無処理区の重量を100%とした場合の各処理区を示した。

十分な効果を引き出すために（1）

施肥のタイミングと量の調節

- ▶ 欠乏状態でバイオロックの散布は行わない
- ▶ バイオロックの効果が持続期間中は施肥を行わない
- ▶ 施肥量を加減する

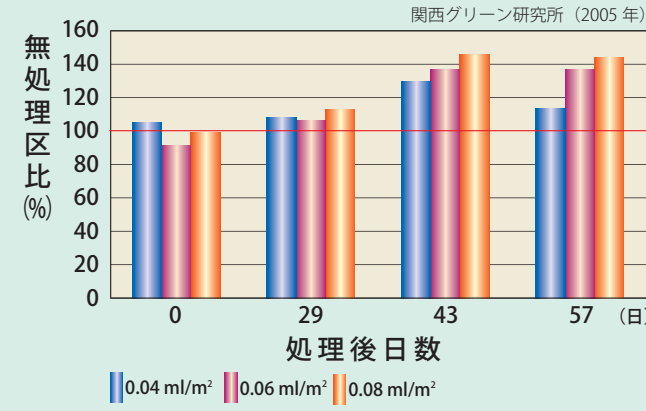
茎葉部への付着量増加

- ▶ 薬液を噴霧状にする
- ▶ 散布水量は少なめにする
- ▶ 展着剤を加用する

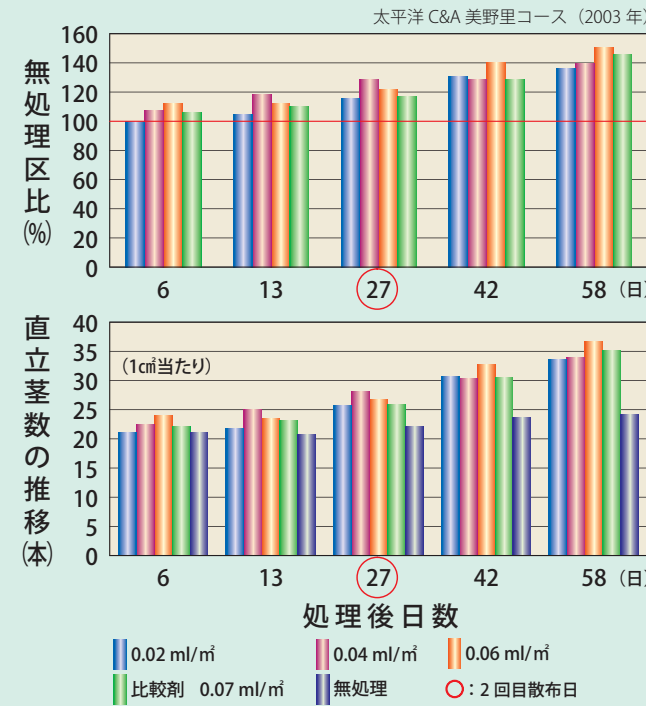
ボーナス効果 1（芝芽数増加効果）

日本芝（コウライシバ）や西洋芝（ベントグラス）の直立茎数を増加させ、芝密度の向上を図ることができます。

コウライシバ



ベントグラス



【試験場所】ベントグラスナーセリー（品種：コブラ 刈り高：3.8mm）
【薬剤処理日】2003年5月24日/6月20日
【施肥条件】[18：3：8] 1.5g/m² 5月22日、[0：52：32] 2.0g/m² 7月5日

十分な効果を引き出すために（2）

■ 芽数増加効果、緑度保持

- ・ 施肥は必要。無施肥では効果は期待できない。
- ・ 反復処理が有効。

■ 耐乾性向上

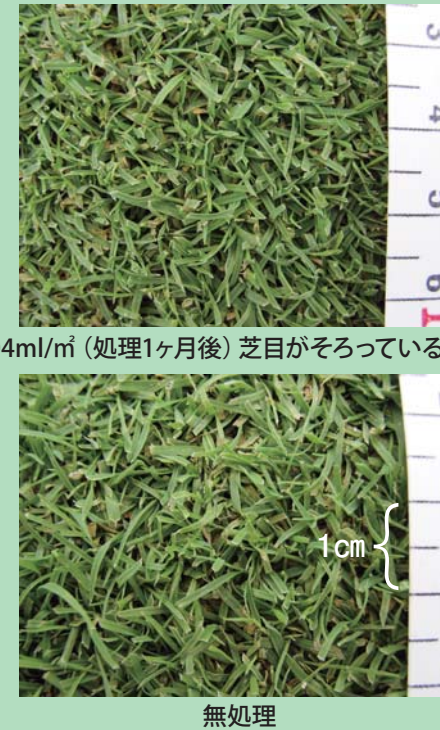
- ・ 乾燥前の散布が重要。
- ・ 土壌浸透剤との体系処理で効果が安定。

ノシバ（処理23日目）



【試験場所】穂高 C.C. ノシバラフ
【薬剤処理日】2001年6月8日

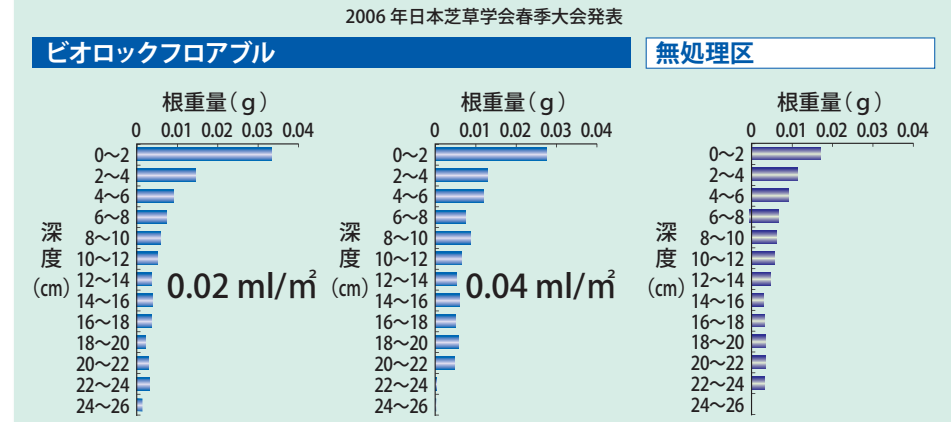
ベントグラスの状態（ゴルフ場ベントグリーンより）



ボーナス効果 2（ベントグラスの高温ストレス軽減）

根量増加や耐乾性付与効果など、夏季ベントグラスの高温ストレスを軽減する作用が認められています。

ベントグラスの根の分布（処理60日後）



ベントグラスに対するバイオロックフロアブルの影響（処理60日後）

	薬量 (ml/m²)	芽数 (本/cm²)	総根量 (g)
バイオロック	0.02	15.0	0.171
	0.04	14.2	0.176
	0.06	15.3	0.202
	0.1	15.2	0.298
無処理		9.2	0.166

* 芽数は10サンプルの平均

夏季高温時の根量維持効果



バイオロック 0.04 ml/m²（6月26日）、0.02 ml/m²（7月26日、8月16日）
土壌浸透剤 1.0 ml/m²（7月4日、8月4日）

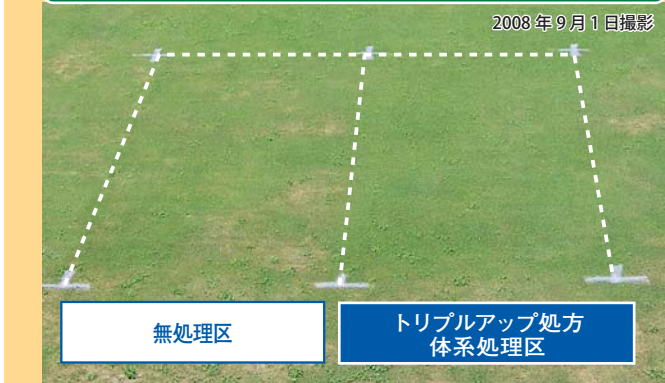
バイオロックフロアブルの耐乾性付与効果



灌水を停止後も健全な生育を維持した。

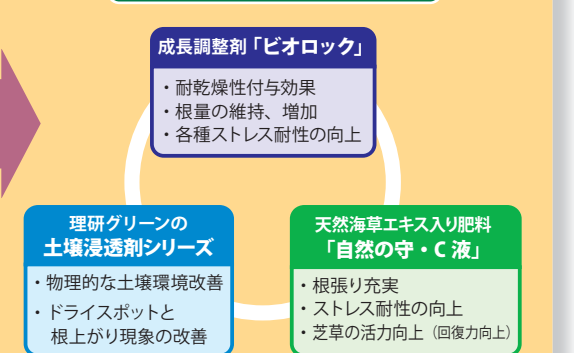
ベントグリーンの夏越し対策にトリプルアップ処方！

トリプルアップ処方によって夏越ししたベントグリーン



ドライスポットの抑制・ターフクオリティの維持・向上効果が認められ、健全な夏越しを実現した。

トリプルアップ処方とは？



バイオロック、土壌浸透剤、自然の守・C液をベントグラスの生育が旺盛な春から梅雨の間に体系処理することでベントグリーンを夏越しに最適な状態に導きます。